

## パラグラフライティング講座を開催しました！

9月22日（金）に、長崎大学言語教育研究センターより西原俊明教授をお招きし、英文ライティングについてご指導いただきました。高校2年生国際科のSGH研究班17班の代表34名が参加し、単語のイメージから、単文レベルの英文ライティング方法、論理的な英文パラグラフを構成するためのノウハウやステップまで順を追って学びました。また、広島大学の入試問題も交えて、グラフ描写に効果的な表現などもご紹介いただき、今後のSGH研究レポート作成の際にとっても役立つ内容でした。大学や社会での学びや効果的な英語学習法についてもユーモアを交えてご教示いただき、和やかな雰囲気でも楽しみながら英語を学びました。参加した生徒からは、「英文を書く際に、日本語をそのまま訳すのではなく、アイデアを英語に直すということを意識していきたい」「これまで難しく考えていたことがとても簡単なことのように思えてきたので、GS IIや英語の授業においても活かしていきたい」といった感想が聞かれました。



## 英語論文講座・日本語論文講座を開催しました！

10月11日（水）に、長崎県立大学地域創造学部より麻生雄治准教授をお招きして、英語による論文作成方法についてご指導いただきました。ユーモアを交えた自己紹介から始まり、生徒たちは終始笑顔で先生のお話を聞いていました。講義においては、論文とは一体どのようなものなのかということについて、ダメな例なども示しながら丁寧に説明していただき、英語論文の構成要素と具体例、論文における序論・本論・結論の理想的な割合などについてご教示いただきました。その後、英語論文に頻出の表現や談話の標識（ディスコースマーカー）、トピックセンテンスの書き方やそれに基づいたパラグラフの構成方法などについても学びました。さらに、先生がこの夏に訪問されたイギリスの大学が、ノーベル賞作家のKazuo Ishiguroさんの母校であった話など、様々なエピソードも伺うことができました。参加した生徒からは、「英語で論文を書いたことがなかったため不安だったが、先生の講義を聞いて少し楽になりました」「お話がおもしろくて、1時間があっという間でした。GS IIでの英文レポート作成に向けて、教えていただいたことを活かして頑張ります」といった感想が聞かれました。講義後は、約1時間もの間、英語部の活動にもご助言いただき、生徒たちは非常に有意義な時間を過ごすことができました。



